

令和8年3月24日
記者発表資料
(県政記者クラブ発表)

神奈川県内広域水道企業団 ～安全で良質な水を送り続けるため～ 新たな「実施計画(令和8～12年度)」を策定しました

神奈川県内広域水道企業団では、“安全で良質な水を構成団体水道事業者(神奈川県企業庁、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局)と連携して送り続け、県民・市民の生活を支える”を基本理念に概ね30年後の将来像を示した「かながわ広域水道ビジョン(令和3年3月)」に基づき、5年毎に「実施計画」を策定し、各種の取組を推進しています。

この度、現実施計画(令和3～7年度)における取組状況などを踏まえ、新たな「実施計画(令和8～12年度)」を策定しました。

「実施計画(令和8～12年度)」の概要

「かながわ広域水道ビジョン」に掲げた3つの柱「Ⅰ 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理」、「Ⅱ 自然災害や多様なリスクへの対応強化」、「Ⅲ 経営基盤の強化」に基づき、5年間で実施する具体的な12の取組とスケジュールなどを示し、施設整備費の総額は約905億円を見込みました。

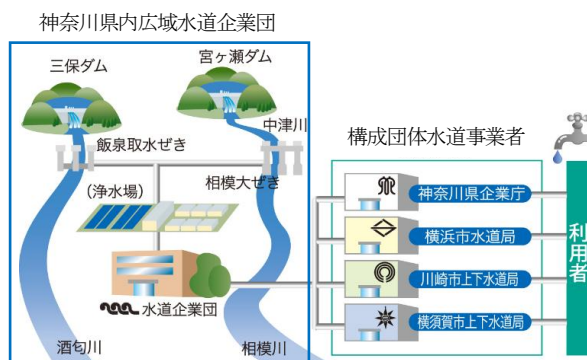
- ・ 「Ⅰ 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理」では、構成団体水道事業者と連携して進める「水道システムの再構築」にかかる事業計画の策定や、送水管路の整備、計画的な施設の修繕・更新等に取り組みます。
- ・ 「Ⅱ 自然災害や多様なリスクへの対応強化」では、施設の耐震化や浸水・停電対策等を推進します。
- ・ 「Ⅲ 経営基盤の強化」では、財源確保や人材確保・育成の強化等を図ります。

<添付資料>

神奈川県内広域水道企業団 実施計画(令和8～12年度)

(ウェブサイト <https://www.kwsa.or.jp/keiei-zaisei/vision.html>) に掲載します)

(参考) 神奈川県内広域水道企業団の概要



神奈川県内広域水道企業団は、三保ダムと宮ヶ瀬ダムに貯めた水を浄水処理し、構成団体水道事業者を通じて、利用者の皆様に、安全で安心な水道水を供給している「特別地方公共団体」です。

(問い合わせ先)

総務部企画調整課長 酒井 045-363-2542 (直通)
総務部企画調整課副課長 佐藤 045-363-9518 (直通)